

県民の安心の
拠り所となる
病院であること

K o h a r u b i y o r i
VOL. 68

こはるびより

愛媛県立中央病院広報誌「小春日和」



“見える”が変わる、手術のカタチ。

～画像解析室、本格運用開始！～



診療放射線技師と医師が3D(立体)画像を用いてディスカッションしている様子

Index P1-2 “見える”が変わる、手術のカタチ。
～画像解析室のご紹介～

P3 診療科紹介「脳神経内科」

P4 ドクターズカルテ、研修医紹介

P5 東洋医学公開講座のご案内

医療安全管理部だより No.59

転入・転出医師 (2025.6.1～2025.8.31)

P6-7 愛媛県立中央病院のご紹介

P8 連携医療機関紹介 ～第39回～

ご自由にお持ち帰り下さい

【発行】愛媛県立中央病院 松山市春日町83番地
TEL:089-947-1111 2025年8月31日発行



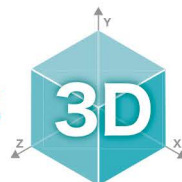
愛媛県立中央病院



“見える”が変わる、手術のカタチ。

2025年4月より、当院では「画像解析室」の本格運用を開始しました。

画像解析室は、CTやMRIといった医療用画像検査の結果をもとに、患者さんの体の中を立体的に再現した「3D(立体)画像」を作成する専門部署です。



これまでの画像診断は、主に平面の画像をもとに情報を読み取っていましたが、**3D(立体)画像では臓器や血管、骨の位置関係をより直感的に理解**することができます。医師は、手術前に患者さんの体の内部構造をさまざまな角度から確認し、手術の進め方を具体的にシミュレーションできるようになります。



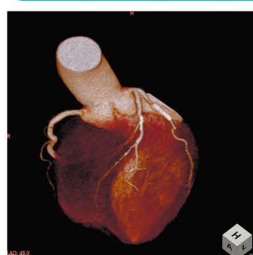
たとえば、複雑な血管の位置や、腫瘍がどのように広がっているかなどを、立体的に把握することが可能になります。それにより、「どの部位からどのように手術を始めるのか」「どこを避けて進めるべきか」など、手術の方針をより精密に計画することができます。これにより、手術時間の短縮やリスクの軽減につながり、**患者さんの身体への負担を減らす**ことができます。

この3D(立体)画像の作成を担っているのは、**診療放射線技師**です。単に画像を加工するだけでなく、体の解剖学的な構造や手術の流れにも精通し、医師の意図をくみ取ったうえで、必要な情報を正確に立体画像として表現する高度なスキルを求められます。

医師との密なコミュニケーションを通じて、患者さん一人ひとりに最適な画像を提供し、安全で質の高い医療に貢献しています。

画像解析室は、「**見えない体の中に見える形にする**」ことで、手術の安全性を高め、患者さんにより安心して治療を受けていただける環境づくりを支えています。

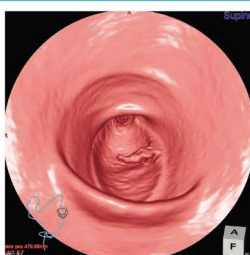
作成した3D(立体)画像



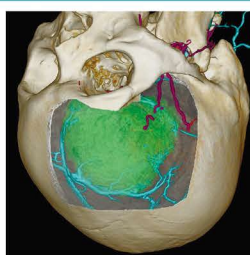
▲心臓



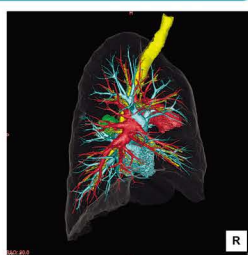
▲大動脈



▲仮想内視鏡



▲脳腫瘍



▲肺腫瘍

画像解析室は、今後も医療チームの一員として、技術と知識を活かし、患者さんに寄り添った医療を提供してまいります。

診療科紹介 脳神経内科



脳神経内科は、脳、脊髄、末梢神経、筋肉の病気を診断して、内科的治療を行う診療科です。



当科は、**治療に重点をおいた「治せる脳神経内科」**を掲げて診療にあたっています。当科が担っている役割には以下の3つがあります。

①急性脳血管障害患者さんの診療

救命救急センターへ搬送されてくる急性脳血管障害患者さんの診療です。当院には年間500名以上の脳卒中患者さんが搬送されますが、その中で主に虚血性脳卒中（脳梗塞）の診療を担当しています。脳卒中は寝たきりの原因の約3割を占めています。発病から出来る限り早く治療介入を開始することで後遺症を最小限度に抑えられます。脳神経外科とAIS（Acute Ischemic Stroke）チームを編成して、脳卒中が疑われる患者さんの搬送を積極的に受け入れ、適応症例には血栓溶解療法や機械的血栓回収術等の再灌流療法を行っています。

②あらゆる神経・筋疾患の診断や治療

県の基幹病院の脳神経内科として、あらゆる神経・筋疾患の診断、治療に対応できるように取り組んでいます。脳卒中以外の急性神経疾患（脳炎、ギラン・バレー症候群、てんかん）、神経難病（パーキンソン病、筋萎縮性側索硬化症、脊髄小脳変性症）、難治性免疫神経疾患（多発性硬化症・視神経脊髄炎、多発性筋炎、重症筋無力症、慢性炎症性脱髄性多発神経炎、自己免疫性脳炎・脳症）、遺伝性疾患（筋ジストロフィー、遺伝性脊髄小脳萎縮症、シャルコーマリートゥース病）の患者さんを県内外から受け入れ、診断・治療を行っています。近年、免疫性神経筋疾患の疾患活動性の抑制効果の高い生物学的製剤、神経難病に対してより進行抑制効果のある新薬が登場しています。当科もこうした薬物治療を積極的に取り入れて治療成績の向上に努めています。神経難病患者さんに対しては、薬物治療とともに介護・福祉機関とも多職種連携を図り、患者さんの包括的ケアの構築にも尽力しています。

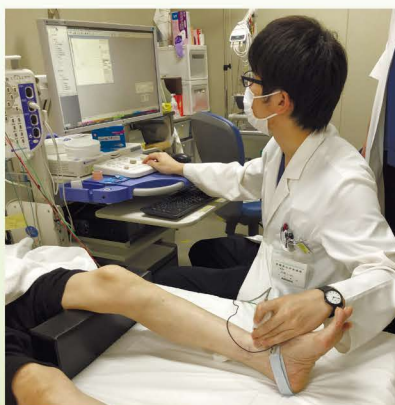
③研修する医師の積極的な受け入れ

将来、神経内科医、脳卒中医を目指して研修を希望する医師の専門研修を積極的に受け入れています。

脳卒中、頭痛、てんかん、認知症でお困りのことがあれば、お気軽にご相談ください。



▲①脳血管内治療



▲②電気生理学検査



▲③総診診の様子

2025年4月より着任いたしました、心臓血管外科の日の野阿斗務と申します。福岡県出身ですが、父の仕事の影響で幼少期から様々な地で過ごしてまいりました。2013年に佐賀大学医学部を卒業後、広い視野を持つ優れた心臓血管外科医を目指して東京女子医科大学心臓血管外科に入局いたしました。これまで東京・仙台・山梨と様々な地で経験を重ねてまいりました。今回の赴任は突然ではありましたが、愛媛は祖父の出身地でもあり、どこか縁を感じながら日々の診療にあたっております。着任から数ヶ月が経過し、多くの手術や患者さんに触れる中で、改めて臨床の奥深さとやりがいを実感しつつ、臨床に集中できる今の環境に感謝しております。

私生活では、松山市の豊かな自然と子育て環境に恵まれ、休日には家族とともに外出を楽しむなど、充実した時間を過ごしております。

今後も、愛媛県における心臓血管外科医療の発展に微力ながら貢献できるよう、研鑽を重ねてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。



▲臨床一辺倒にならないように、アカデミックな活動にも力を入れています



▲休みの日は家族で松山や四国を楽しませていただいています

当院の研修医を紹介します

1 年次研修医 小 林 浩平 医師

Resident

仕事以外の過ごし方を教えてください。

体を動かすことが僕のリフレッシュ方法です。高校から始めたバドミントンは今でも毎週やっています。最近はランニングも始めました！汗だくになるのが最高です！もちろん、熱中症には最大限気を付けて。

日頃気を付けていることは何ですか？

学生の時よりも体調に気を遣うようになりました。もう自分のためだけの体ではないので、手洗い、うがい、マスク、おへそを出して寝ない...当たり前のことから心がけて行動しています。

今後の目標は何ですか？

「研修医にとって1番の失敗は失敗しないことである」と考えています。もちろん、患者さんやご家族の方の迷惑にならない範囲でたくさん失敗し、たくさん学びを得られる2年間にしたいと思っています。



▲工作中的様子

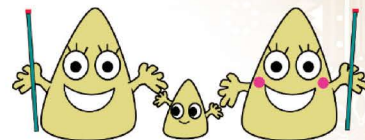


▲毎週バドミントンをして汗をかいています！



東洋医学公開講座のご案内

当治療室で行っている治療の紹介や、自宅でできる養生法、ツボ押しなどの体験を参加者のみなさんと楽しく行っています。案内は院内掲示や愛媛県立中央病院ホームページ、公式 SNS にて随時更新しております。皆さまのご参加お待ちしております。



鍼灸治療室マスコット

【日程と内容】

	開催日	内 容
第51回	令和7年 12月15日(月)	東洋医学と冷え
第52回	令和8年 2月5日(木)	東洋医学と便秘・下痢

【時間】 13:30~14:30 (当日受付 13:00 より)

【会場】 愛媛県立中央病院 管理棟1階 講堂

【定員】 50名 (参加費無料) ※事前申込が必要です。



▲公開講座の様子

〈お申し込み・お問い合わせ先〉 愛媛県立中央病院 鍼灸治療室 ☎089-947-1111(代表)

No.59

医療安全管理部だより

放射線検査におけるリブレの取り扱いを変更します

持続グルコース測定器「FreeStyle リブレ」は血糖の変化をいつでも・どこでも測定することができる医療機器です。リブレは、放射線を使用する検査では取り外して撮影することがメーカーから推奨されています。

しかし、当院では、身体・リブレ自身への影響が少ないと考えられることを踏まえ、「**リブレを装着したまま放射線検査ができる**」ことに変更します。

令和7年8月1日(金)より、X線検査・CT検査等でリブレを取り外す必要はありません。リブレには金属部分があるため、引き続き **MRI 検査につきましては取り外して検査**といたします。

※リブレを装着したまま放射線検査を行った結果、リブレの不具合や数値への影響が生じた場合、当院では責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

※従来通り、リブレを取り外して撮影をご希望される場合は、取り外していただいて問題ありません。

皆さまのご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



転入・転出医師 (2025.6.1~2025.8.31)

▶ 転入

所属	氏名	専門
麻酔科	和田 彰平	麻酔一般
麻酔科	足立 良太	麻酔一般
小児科	中村 亮太	小児一般・保健
脳神経外科	尾崎 沙耶	脳血管障害、脳血管内治療

▶ 転出

所属	氏名
麻酔科	佐々木 凜来
呼吸器外科	田邊 慶太郎
皮膚科	岡崎 秀規
心臓血管外科	深見 惇二

愛媛県立中央病院 のご紹介

※表記のないところは 2024 年度集計

医師・歯科医師数



301 人

(正規・臨時・パート・嘱託職員を含む)
※2025 年 4 月 1 日現在

看護師数



798 人

(正規職員のみ)
※2025 年 3 月 31 日現在

専門・認定看護師数

25 人

※2025 年 3 月 31 日現在

病床数



827 床

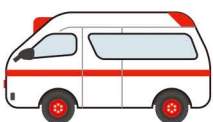
※許可病床数

救急受診者数

5,435 人

※3次救急 等

救急車での搬送件数



3,891 件

※3次救急 等

入院延患者数

183,549 人

新入院患者数

16,072 人

1 日平均患者数

44.0 人

外来延患者数

310,622 人

1 日平均患者数

1,278.3 人

紹介患者数 (初診のみ)

16,390 人

紹介率

80.5 %

逆紹介率

127.5 %

平均在院日数

10.6 日

ドクターヘリ出動件数

333 件



年間手術件数

8,028 件

※手術室実施・算定分

外来化学療法実施件数

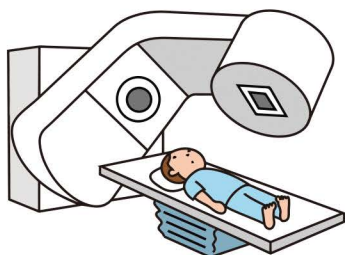
11,298件

PET-CT 検査件数

2,645件

放射線治療件数

8,417件



ロボット支援手術件数

454件

※実施件数



手術支援ロボット

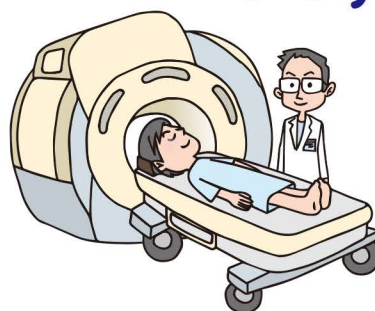
分娩数



773件

MRI 検査件数

11,279件



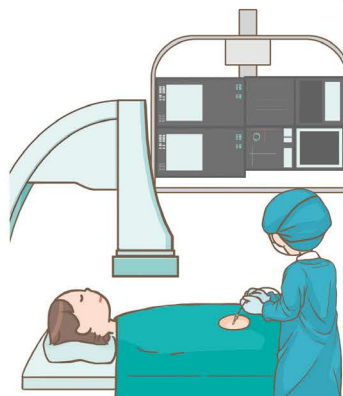
内視鏡検査件数

8,845件



血管・心臓カテーテル検査総件数

2,472件



リハビリテーション実施患者数

3,349人

連携医療機関紹介 ～第39回～

吉松こどもクリニック

- 所在地 松山市中一万町7-2
- TEL 089-945-9035
- 診療科目 小児科
- 外来診療時間 休診日 木曜午後・日曜午後(第2・4)・祝日・年末年始

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00	○	○	○	○	○	○	○
14:00～18:00	○	○	○	×	○	△ 13:00～ 16:00	△※

※第2・4日曜は9:00～12:00まで(午後休診)

【病院の概要】2025年5月に“吉松こどもクリニック”を開業いたしました。これまで“吉松小児科”として診療を行っていましたが、院長の継承に際し診療所を建て替え、松山市中一万町で引き続き診療しております。

【病院の特徴】当院のコンセプトは“お子様とご家族に寄り添う診療”です。感染対策として、半個室型の待合や非感染症患児のための待合エリア、専用診察室を設けております。待ち時間、医院滞在時間の短縮のために複数医師での診察日を設け、web予約・受付・問診も利用可能です。毎週土曜午後、第1・3・5日曜は午後も診療を行っておりますので、急な発熱や平日に相談できなかった事項について受診をご検討ください。皆様のご来院をお待ちしております。



しみずクリニック 泌尿器科・内科

- 所在地 松山市問屋町3番25号
 - TEL 089-908-8400 ■FAX 089-908-8410
 - 診療科目 泌尿器科・内科
 - 外来診療時間 休診日 水曜午後・土曜午後・日曜・祝日
- 2025年度休診日 お盆休み: 8月14日(木)～8月16日(土)
秋祭り最終日: 10月7日(火) お正月: 12月29日(月)～1月3日(土)

	月	火	水	木	金	土	日
9:00～12:00 (受付は11:30まで)	○	○	△ 9:00～ 13:00	○	○	△ 9:00～ 13:00	×
15:00～18:00 (受付は17:30まで)	○	○	×	○	○	×	×

※月曜～金曜の12:00～15:00は訪問診療

【病院の概要】2025年5月1日に問屋町に新規開院しました。泌尿器科と内科の2つの専門分野を備えた夫婦で診療を行うクリニックです。内科は女性医師が担当します。

【病院の特徴】かぜからおしこの悩みまで幅広い診療が可能です。泌尿器科では、男性の働く世代の方々がよりよい生活を送れるようにサポートいたします。男性更年期(なんだか調子がよくない)、ED(元気がない)、薄毛などの治療も可能です。ぜひ、ふらっと立ち寄ってご相談ください。内科では、血液内科として、長引く倦怠感や息切れ、微熱、原因のわからないリンパ節の腫れ、皮下出血、異常な血液検査などもご相談いただけます。また、総合内科専門医として高血圧や糖尿病、風邪症状など日常的な病気から、「何科にかかればいいのか分からない」といった不安を感じるような体調の変化まで、幅広いお悩みにも対応いたします。

当院は、2010年10月29日に「地域医療支援病院」の承認を受けています。このコーナーでは、紹介・逆紹介によって連携している医療機関を随時ご紹介させていただきます。(紹介順序につきましては、順不同ですのでご了承ください。)

